

日本の復興

東日本大震災は天災と人災（原発）が複合した歴史的な凄まじい災害です。国家の有事であります。

日本は一体です。大きな影響も北陸にもあります。いま心を寄り添え日本、東北の早期復興が日本人の一番の課題です。

私たちのできることは、それぞれの持ち場で目標を掲げ、これまで以上のスピードで、一生懸命働き仕事をする事

でしょう。

各個人が考えて、行動することが日本を支えます。

大きな談合は国策、小さな談合は犯罪です。しかし戦後日本が復興した基盤でもありません。

新自由主義が跋扈し、小泉政権で世界基準に合わない

秩序を壊して、大きな混乱を招いた。

復興には5年以上もつと、何年もかかると思います。

まず先に、最悪も想定し原発を押し込めることです。

目標を掲げ新しい日本民族のため、津波、原発の失敗を二度と繰り返さないことを固く誓い、戦後の失敗を、政府や官僚任せにせず、自分達で決め何年かかろうとやり遂げることを心に誓うべきなのです。

人間はイメージによって行動します。世界で日本の風評被害が広がっています、負のスパイラルは経済にとって大打撃です。日本崩壊の危機です。戦後築いた日本のイメージが失われる寸前です。

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2011年4月28日(木) NO 191

地域から明るい未来を作ろう

として規制されました。独立国なら米基準に何んでも従う必要はないはずなのですがね。政権と財務省の復興財源不足はウソです。

「事務所便り」では、2年前のNO 20号（平成21年1月30日）から、米国債の洗脳（プロパガンダ）を指摘。原発の安全神話と同じで騙されています。増税をしながらも財源は充分あります。主な掲載は次のとおり。

- ・ イギリス帝国と米国の滅亡（NO 20号）
- ・ アメリカの三大罪（NO 21号）

原発神話と増税

- ・ 80号）
- ・ 米国債を売却せよ（NO 86号）
- ・ 米の抱きつき心中（NO 101号）
- ・ 食料の自給自足も許さぬ植民地政策（NO 22号）
- ・ 変わる日本（NO 27号）
- ・ 属国の末路（NO 47号）
- ・ 売国政策からの脱却（NO 80号）

- ・ 財源は国債（NO 110号）
 - ・ あなたの税金が狙われている（NO 129号）
 - ・ スイッチを入れよう（NO 133号）
 - ・ 日本の独立（NO 174号）
 - ・ 米国最優先を転換（NO 178号）
 - ・ 驚愕の事実（NO 188号）
- 内容はホームページに掲載です。非常事態で簡単に、財務省の復興増税論に騙されないことが必要です。

渋沢栄一やドラッカーではありませんが、苦難にあえて挑戦するのです。成功は曲がりくねった道の先にしかないものです。日本人は苦勞することを忘れてはいませんか。



多くの人に幸せを与えよう

「君子は機を見てたつ、日を終わるを待たず」とあります。易経を読んでいたところ、隆盛や衰退について、時を含め森羅万象すべてが変化します。良い時は悪い方に、悪い時は良い方へ向かう。兆しとは直感、何らかの兆し前触れ、予兆があるところ。日本はいま何かがおかしい、変だの感じが易で言う所のシグナルです。

「お終りです。後は縛られるだけです。自由に絶対になりません。最近、古典の意識、易経を読んでいたところ、隆盛や衰退について、時を含め森羅万象すべてが変化します。良い時は悪い方に、悪い時は良い方へ向かう。兆しとは直感、何らかの兆し前触れ、予兆があるところ。日本はいま何かがおかしい、変だの感じが易で言う所のシグナルです。」